

図書館通信

甲府南高校図書館
【2023年11月】
No. 7

読書週間終了しました！

10月27日(金)～11月9日(木)の読書週間にイベントを開催しました。図書館に来てくれたみなさん、ありがとうございました。期間中は毎日来てくれる人やクラスメイトを誘ってきてくれる人もいて、大変盛り上がりました！

クラス対抗！ガチャビンゴ結果発表

本を借りると1回できるガチャビンゴは人気で、期間中、188回の利用がありました！
優勝したクラスは…

10ビンゴで圧倒的！！

3年1組でした

1位になった3年1組で、読書週間期間中の貸出が上位(マンガを除く)の1名には図書カードを、また、2位～6位の5名には、ささやかな景品をプレゼントします。参加してくれた皆さん、ありがとうございました！



先生おすすめの本展示は継続中

南高校の先生に、好きな本やおすすめの本を教えてくださいました！10名の先生のコメントを、コピー機近くの掲示板に、掲示しています。

こちらは、読書週間終了後も掲示していますので、ぜひ読書の参考にしてください。





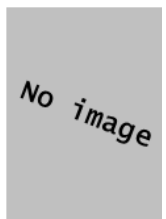
新しい本が入りました！

新しい本は図書館に入って右手の「新着図書」の棚にあります。
貸出中の場合は、予約ができます。お気軽におたずねください。



『ChatGPTの全貌 何がすごくて何が危険なのか』
岡島裕史著、光文社

AIの利用はもはや後戻りができないところまで来ている。ChatGPTの利点と危険性を具体例を交えて解説する。



『リカバリー・カバヒコ』
青山美智子著、光文社

ある公園に設置されたカバの遊具・カバヒコには触れることで自分の治したいところが治るといふ都市伝説があり…。



『一生に一度は行きたい世界の美しい書店・図書館』宝島社

映画「ハリー・ポッター」のロケ地にもなった図書館など、世界の美しい書店・図書館を写真付きで楽しめる。



『本の背骨が最後に残る』
斜線堂有紀著、光文社

物語を語る人物が本と呼ばれ誤植が見つければ燃やされる世界を描く表題作をはじめとした7作の異界物語短編集。



『看護を学ぶ人のための心理学』
遠藤公久編、弘文堂

看護師は心と向き合う仕事。看護学生が直面する日々の出来事を通じて心理学、そしてヒューマン・ケアについて学ぶ一冊。



『777』
伊坂幸太郎著、角川書店

『マリアビートル』から数年、殺し屋の七尾が受けた依頼は安全で簡単なはずだった…。殺し屋シリーズ最新作！



『宗教が変えた世界史』
祝田秀全監修、朝日新聞出版

世界史の転換点には宗教が関わっていることが数多くある。それらの歴史上の出来事とその前後でなにが変わったのかをフルカラーの図や絵でわかりやすく理解する。



『あなたが誰かを殺した』
東野圭吾著、講談社

8月の別荘地で起きた悲劇。事件に巻き込まれた家族たちは自らの手で真相を解き明かそうとする。そこに長期休暇中の刑事、加賀恭一郎が現れる。

■ 『ようこそ！富士山測候所へ』
長谷川敦著、旬報社

■ 『47都道府県産業遺産百科』
市原猛志著、丸善出版

■ 『異邦人のロンドン』
園部哲著、集英社インターナショナル

■ 『逆転おうち勉強法』みおりん著、KADOKAWA

■ 『2.43清陰高校男子バレー部 next 4 years』
壁井ユカコ著、集英社

■ 『可哀想な蠅』武田綾乃著、新潮社

■ 『猫弁と狼少女』大山淳子著、講談社

■ 『どうしようもなく辛かったよ』
朝霧咲著、講談社

■ 『隣人を疑うなかれ』織守きょうや著、幻冬舎



あなたの「今年の漢字」を募集します！

12月12日の「漢字の日」にちなみ、毎年、京都の清水寺で「今年の漢字」が発表されます。2022年の漢字は「戦」でしたが、今年はどんな漢字が選ばれるのでしょうか。図書館でも、みなさんの今年一年を表す漢字を募集しています。図書館内に掲示しますので、ぜひ応募してください。詳しくは図書館カウンターまで！